

## I. 予備調査について

### I-1. 事業管理者のプロフィール

団体名 (代表者名)	一般社団法人山口県建設業協会		
所在地	山口県山口市中央4-5-16 山口県商工会館4階		
電話番号	083-922-0857	E-mail	
FAX番号	083-923-7101	URL	<a href="http://www.yamaken.or.jp/">http://www.yamaken.or.jp/</a>
設立年月日	昭和25年7月8日	担当者名	

### I-2. 申請時の事業概要

全国的に建設技術者・技能労働者不足の問題が顕在化している。

山口県においても、特に躯体三工種の不足状況を示す山口労働局の平成26年度データとして、月間の求人倍率が1.2倍を超えた月や、新規求人の年間総数が800件を超えたという報告もあり、その影響は本協会の会員企業にも出ており、これからの深刻な人材不足を懸念しているところである。

今後、本協会が人材確保育成をすすめるためには、県内の専門工事業団体や職業訓練校等との連携ネットワーク構築を行い、厚生労働省等の助成金を活用した施策を共同で展開することが急務であるが、まずは予備調査として、先進的な取組みを行っている民間訓練施設の視察と定期的な連携会議を実施して、課題を共有した上で、新たな人材育成方策を展開していきたい。

また、県内の職業訓練施設についても、稼働状況等の調査及び今後の連携について協議を行う。

## II. 調査結果

### II-1. 実施した調査内容

※調査を行った事項について、具体的に記入してください。

専門工事業2団体（山口県鳶工業連合会・山口県鉄筋工業協同組合）の会員企業及び個人を対象に実施（企業向け調査）

- ①平成28年中新規求人（正規社員）の予定ありますか？
- ②雇用契約を締結していない見習いやアルバイト等で平成28年中に正規社員にしたい方はいますか？
- ③訓練の講師（実技・座学）に推薦可能な現役又はOBの方はいますか？

（個人向け調査）

- ①現在の仕事に就いたきっかけについて
- ②技能訓練を受けた場所等について
- ③人材確保・育成のために講師として協力可能ですか？

以上、集計結果は団体毎に分けて成果報告会資料に掲載した。

## Ⅱ－２．地域教育訓練ネットワーク構築について

※団体等と連携し、教育訓練組織のネットワーク連携の可能性について記入してください。

「山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会」全16団体の中から、教育訓練体系構築に特化した下記7団体で「専門部会」を設置して活動を行った。

- 一般社団法人山口県建設業協会
- 山口県土木建築部
- 厚生労働省山口労働局
- 山口県立西部高等産業技術学校
- 山口職業能力開発促進センター（ポリテクセンター山口）
- 山口県鳶工業連合会
- 山口県鉄筋工業協同組合

## Ⅱ－３．教育訓練体系の内容について

※教育訓練施設の確保やカリキュラム・教材・講師等について調査内容を記入してください。

県内の建設系訓練コースを持つ下記2校について、「専門部会」メンバーになって頂き、聞き取り調査と施設貸与の依頼を行った。

- ①山口職業能力開発促進センター（ポリテクセンター山口）  
全8コース中建設系は2コース（住宅施工技術科・住環境コーディネート科）
- ②山口県立西部高等産業技術学校  
全7コース中建設系は3コース（木造建築科・エクステリア造園科・内装リフォーム科）  
いずれも鉄筋、鳶等の躯体系訓練コースはないが、新規訓練はオーダーメイド型で対応し、施設貸与も認めて頂いた。

## Ⅱ－４．その他周辺事業について

※その他広報活動などはここに記入してください。

協会広報誌「ピラー」17号の巻頭特集に本事業の特集記事を掲載した

## Ⅱ－５．実施事業への移行について

※実施事業に移行できるかどうか。誰とどのようなことをしたいか等大まかな予定を記入してください。

上記予備調査の結果、実施事業に移行することが可能と判断した。

今後の実施事業については、平成27年度最後の「専門部会」協議会において、専門工事業2団体（山口県鳶工業連合会・山口県鉄筋工業協同組合）から各工種で必須となる資格に対する技能研修・特別教育の実施と将来の講師養成について本実施事業を活用して取組みたいとの要望があり、各訓練機関も協力を了承したことから、平成28年度からの2年間、専門部会連携により、技術者・技能者育成のため県内外の職業訓練機関を活用して、以下の事業を予定している。

- ①内定者又は新入社員研修の実施（三田建設技能研修センターもしくは県内施設）
- ②県内のポリテクセンター、西部高等産業技術学校でのオーダーメイド型訓練の実施  
（鳶、鉄筋の技能検定のための受検対策講習や「足場・型枠支保工・鉄骨等の組立て作業主任者」等）
- ③高校生の現場見学会で鳶、鉄筋のPRチラシを作成し配布
- ④高校生の現場実習に、鳶、鉄筋系会社も加える
- ⑤一般人向けの「ものづくりフェア」において、PR展示と作業体験を実施。
- ⑥将来の技能講師養成のために富士教育訓練センターの講師研修に参加

以上